

## 校長だより【66】東吹の第34回定期演奏会♪ 030326



オンラインでの退任式・離任式、表彰式、修了式を無事終えた3月26日の夕刻、厚木市文化会館大ホールで、本校吹奏楽部（愛称「東吹」）の第34回定期演奏会が開かれました。

昨年度は、3月の卒業式の翌日から長い臨時休業に入ってしまった、残念ながら中止せざるを得ませんでした。以来、文化祭での演奏はできたものの、コンクールをはじめとする目標としてきた活動の多くが中止となり、特に73期生は文字通り涙を飲んだ一年でした。

しかし、そんなコロナ禍に於いても、東吹は決してあきらめませんでした。難局にあっても、常に自分たちにできることはないかと考え続け、そして実行してきました。部のツイッターなどを活用しての新入部員の勧誘活動に始まり、夏の終業式後のアウトドアミニコンサート、お隣の緑小へのYouTube配信によるオンライン出前コンサート、録画でのアンサンブルコンテスト応募・入賞、お客様は保護者のみの文化祭などなど、制限の多い中で、工夫を凝らし、素晴らしい成果を上げ、聞く人の心を動かしてきました。

そしてついにこの日がやってきました!! 2年越しの定期演奏会です。開催できるかどうか、保護者や生徒の皆さんに参加いただけるかどうか、直前まで不透明でした。しかし何とか申込制にて、万全の感染防止対策を取って、実施することができました。今年突然の主顧問を立派に努めてくださった金子先生、インストラクターの平山先生、OBOGの皆様、いつも支えてくださった保護者の皆様、そしてデジタルパンフレットに広告を出してくださった地元企業の皆様、皆様のご支援に改めて深く感謝いたします。

素晴らしい演奏会でした。特に3年生が作り上げたⅡ部の趣向は最高でした。野球の応援や厚木ハロウィンパレード、今年度残念ながらできなかった演目が見事に盛り込まれていて、会場を明るく盛り上げました。

そして、73期生リーダー村上千里さんの挨拶があまりにも立派で、私は胸が熱くなり、涙が溢れました。あんなに心血を注いできた多くのことを諦めてもなお、人はこんなに成長できるのだ、生涯の友となるであろう仲間とこんなに強いきずなを結ぶことができるのだ、自分の思いをこんな風に琴線に触れる言葉で語れるようになるのだ、と生徒たちに教わりました。校長として本当に誇らしい限りです。

この日は同会館内の小ホールで本校音楽部が「厚木市文化芸術PR動画（厚木市合唱連盟主催）」の撮影に参加していました。素晴らしい歌声がいずれネット配信されるでしょう。これまた、拝見するのがとても楽しみです。

令和2年度は、本当に大変な年でした。でも、最後に「音楽の力」で魂を洗われたような、清々しい思いです。コロナ禍はいつ終わるとも知れず、気も遠くなりますが、望んでも得難い経験をさせていただいているのだと思うことにして、前に進んでまいりましょう。

*Life goes on! Isn't it sweet?*



達成の笑顔あふれる3年生のみなさん Love ♥ Music!